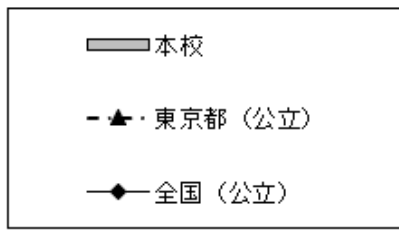


# 令和6年度

## 学習状況および学力向上に向けた取組

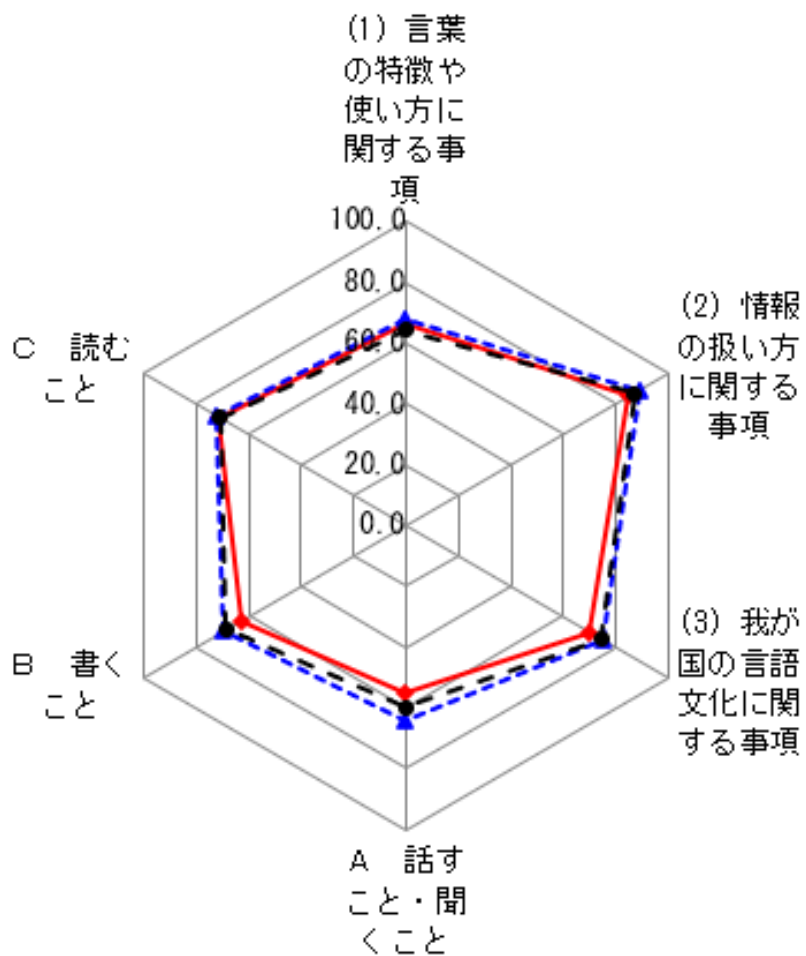
江戸川区立本一色小学校



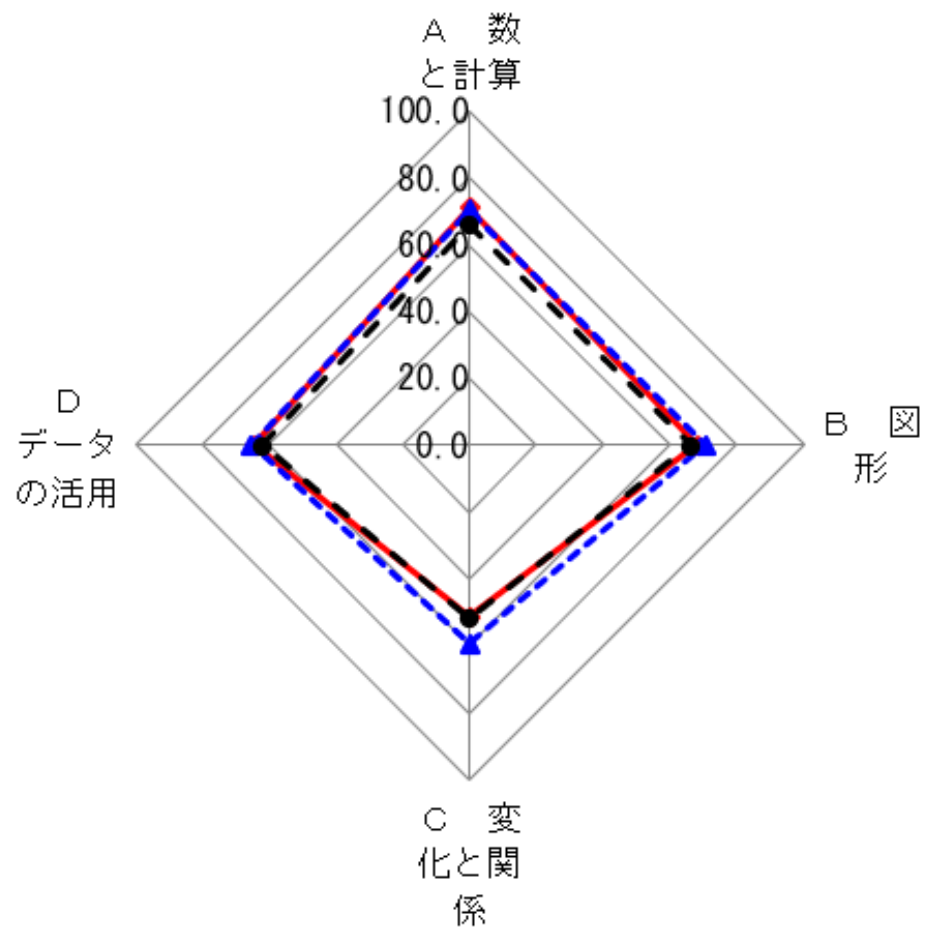
### 『全国学力・学習状況調査』

- 1 調査日時 令和6年4月18日(木)
- 2 調査の対象学年及び対象児童数 第6学年 66名
- 3 調査内容
  - (1) 【国語】知識・技能・活用等に関する問題
  - (2) 【算数】知識・技能・活用等に関する問題
  - (3) 生活習慣や学習環境等に関する調査

### 学習指導要領の内容の平均正答率の状況（国語）



### 学習指導要領の内容の平均正答率の状況（算数）



#### 成果と課題

○成果 △課題

##### 国語

- 「読むこと」の問題では、全国や東京都の平均正答率と同程度の正答率が見られる。
- △ 全国や東京都の平均正答率を下回っている項目が多い。特に、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」では、5～10%程度下回っていて、課題が見られる。また、記述式の問題の正答率が低い。

##### 算数

- 「数と計算」の問題では、全国や東京都の平均正答率を上回っている。
- △ 「変化と関係」の問題では、全国と東京都の平均正答率を下回っている。特に「速さ」の問題で間違いが多い。

##### 生活習慣や学習環境

○都、全国平均を上回る主な項目

- ・自分にはよいところがある。(約15%高い)
- ・人が困っている時は、すすんで助けている。(約7%高い)
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。(約12%高い)

△東京都、全国平均を下回る主な項目

- ・毎日、同じぐらいの時間に起きている。(約7%低い)
- ・将来の夢や目標を持っている。(約14%低い)
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。(約10%低い)

#### 今後の学力向上に向けて

- 国語では、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」において課題が見られた。目的や意図に応じて伝える内容を考えたり組み立てたりする力を付けられるようにする。また、「書くこと」では、事実と意見、感想を区別するなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるようにしていく。
- 算数では、「速さ」の問題で間違いが多く見られた。「単位量あたりの大きさ」などの割合の学習が定着していないことが分かった。苦手意識をもっている児童が多くいるので、繰り返し復習して定着を図っていく。
- 生活習慣や学習環境等に関しては、「自分にはよいところがある。」の項目が平均を上回っているため、これからも自分のよさを見付けられるようにしていく。しかし、「将来の夢や目標を持っている。」の項目は平均を下回っているため、自分のよさを将来どのように生かしていくかを考えられるような機会をつくっていく。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しい。」の項目が平均を下回っているため、授業中に交流する場面を多く取り入れ、他の人の意見を聞くことの楽しさを感じられるようにしていく。